

「わたしのピーマンできた！」

5歳児

目的 栽培活動を通して物を育てる喜びや「命」の大切さを感じる。
親子で一つの物を育てることによって、家庭での共通の話題づくりをし、
生物を育てる喜びを共感する。

気づく

ピーマンの栽培をしよう

多くの幼児が苦手と感じているピーマンを一人一鉢栽培する。
親子栽培（親子で一緒に植える）をすることで保護者と子どもが共通の体験をする。

ピーマンやいろいろな野菜が載っている図鑑や絵本をよく目にふれる所に置く。
本物の野菜をかごなどに入れ部屋に飾る。
毎日、親子で水やりができるように玄関に鉢を並べるようにし、ジョウロを置く。

広げる・深める・計画する

友だちのピーマンができたんだって

「ピーマンなんて大嫌い」といていた幼児も『友だちのピーマン』ができたことによって興味を示す。ピーマンが嫌いな子も『自分のピーマン』は大切に、食べようとする姿に変わってくる。
家に持って帰ることによって、親子でピーマンのことを話題にしたり「食べられた！」という経験ができるようにする。

ピーマンができて始めることを話題にし、みんなが通る所に写真などを掲示する。
育ったピーマンを収穫し、家に持って帰って料理に使えるようにする。

実践する 1

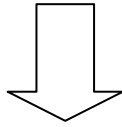
ピーマンを食べてみよう 今日のお弁当に「ピーマン」

ピーマンの成長の様子をじっくり観察する。
ピーマンの料理をお弁当に入れて持って来よう。
・「早く大きくなあれ！」という思いが変わってくる。



ピーマンを入れたお弁当

育てたピーマンを使った弁当を写真に記録し掲示する方法もある。
夏休みの「ピーマン日記」を作り、継続して育てた記録を残せるようにする。



実践する2

ピーマンが枯れた！どうしたらいいの？

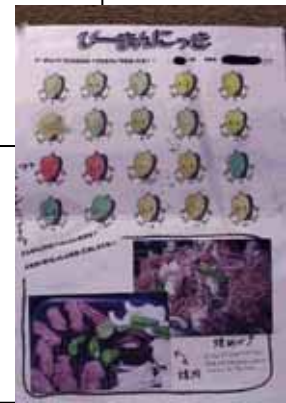
水やりを忘れてしまいピーマンを枯らしてしまった幼児は、どうしたらよいか考える。

- ・友だちのピーマンをいっしょに育てる。
- ・先生に言って初めから栽培するなど

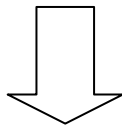
枯れてしまったものは二度と生き返らないことを知り、ピーマンをもう一度育てることで植物も生きていることを感じ、「命」あるものの不思議さや大切さを感じる。

今度はピーマンを最後まで育てる。

ピーマンだけでなく、いろいろな植物の種取りを遊びの中に取り入れ、「自分の物を育てる」ことで「命」があることを感じていく。



ピーマン日記



振り返る

生きているものには「命」があるんだね

幼稚園の生活の中で、さまざまな植物の栽培活動をするによって、成長に関心を持つ。育てることの喜びや、「命」を感じられる経験につなげていく。

「うちにあかちゃんがうまれるよ」(ポプラ社)などの「命」の絵本を活動の中に取り入れることもできる。園での活動をきっかけとし家庭生活につなげていく。

【学習を進めるにあたって】

- ・ピーマン嫌いの子どもたちが多く中で、栽培を通してピーマンへの愛着を高めたり、先入観をなくす取り組みにもつながる。他の植物の栽培にも応用することが可能である。